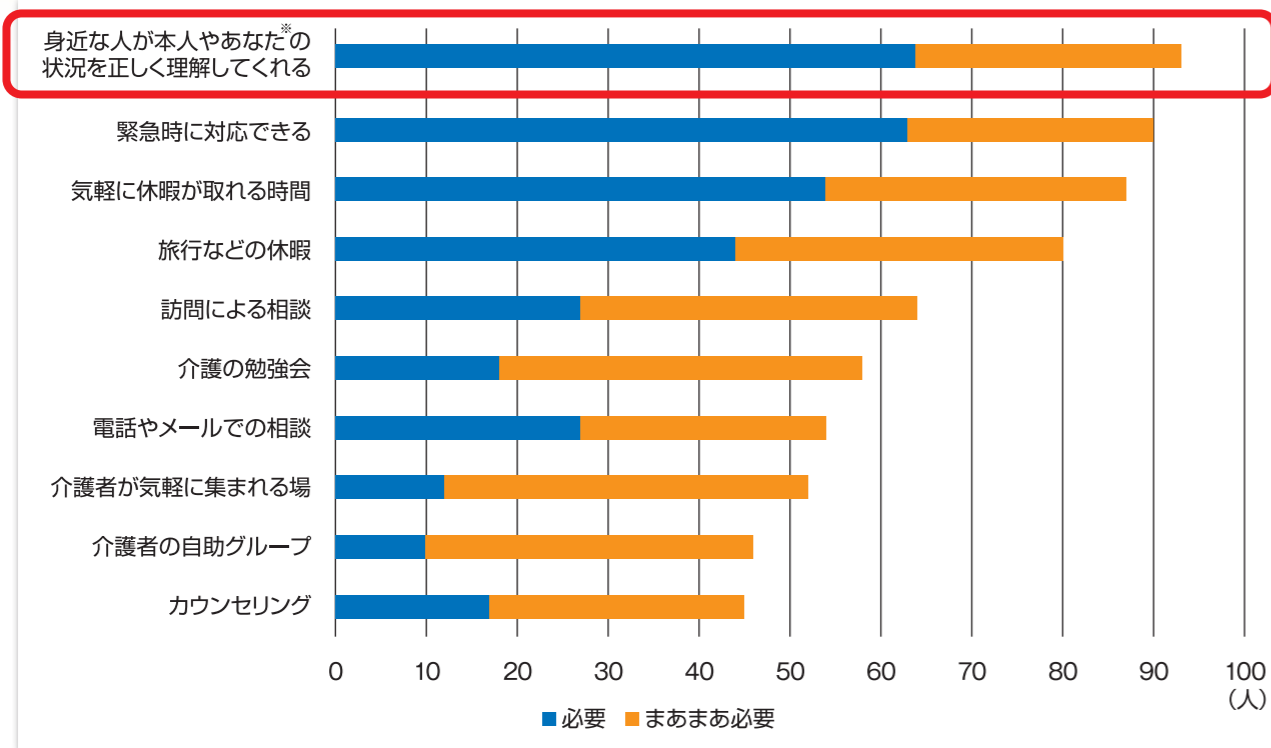


「高齢者等やその家族を地域で支えるために」

平成28年11月に、介護保険サービス事業を利用されている市民のご家族を対象とした「介護者支援の在り方について」のアンケートを行いました。そのアンケートの結果(一部)をご紹介します。

◆介護者に必要な支援について

(H28 神崎市 介護者支援の在り方について)



※本人…介護が必要な方、あなた…主に介護をしている方

一番多かった回答は、

「ご本人やその家族の状況を
身近な人が**正しく理解**してくれる」
ことでした。



くねんワン

家族介護者を正しく理解するには、
何から始めたらいいのを見よう。



くねんニャン

ものわすれ相談室

春は、家族の巣立ちなどちょっとした環境の変化がある季節。変化による心の不安は“もの忘れ”として現れることもあります。

ものわすれ相談室は、月に1回、認知症疾患医療センターとして佐賀県で指定された医療機関の専門医が相談を行い下記の人を対象です。

○神崎市にお住まいの人やそのご家族で、

- **もの忘れに対する不安がある人**
- **病院はまだ早いけど、一度相談したい人**

(完全予約制・先着3名)



- **開催日** 平成29年3月10日(金)
- **場所** 千代田町保健センター
- **時間** 15時から17時(1人40分程度)

◆申込み・問い合わせ・相談先◆

神崎市 高齢障がい課 地域支援係 ☎0952-37-0111
 おたっしゃ本舗 神崎北 (脊振支所内) ☎0952-59-2005
 おたっしゃ本舗 神崎南 (千代田支所内) ☎0952-34-6080

★1年を振り返って★
 皆さまのご協力の元「介護者支援の在り方について」のアンケートをまとめる事ができました。この場を借りて、ご協力いただきましたご家族の皆さま、介護保険事業所さまにお礼申し上げます。本当にありがとうございます。
 今年度から配置されている認知症地域支援推進員ですが、グループホームの運営推進会議に参加させていただく機会があり、多くのことを学んでいます。例えば、アルツハイマー型認知症の方は、記憶障害を伴う事が多い病気ですが、それを補うように感情は覚えているとのこと。
 某グループホームの管理者さんから「入居当初は精神不安定だった入居者の方が、職員さんとのなじみの関係ができて精神状態が穏やかになった」という話を聴きました。認知症の方は顔や名前を覚えることが難しくなっても、どう感じたかを覚えていくからこそ、なじみの関係が出来上がっていくのではないかと強く感じました。
 (原田)